

2020年度 早稲田大学教員免許更新講習 シラバス

講習名	【8036】地域社会と生涯教育		
担当講師	雪嶋 宏一（教育・総合科学学術院教授） 濱中 淳子（教育・総合科学学術院教授） 矢口 徹也（教育・総合科学学術院教授） 坂内 夏子（教育・総合科学学術院教授）		
講習方式	対面講習からオンライン講習に変更します。		
オンライン講習受講にあたっての留意事項	Zoom を使用してオンライン講習をおこないます。 事前の準備に必要なもの等：Zoom の個人アカウント取得、PC あるいはタブレット PC（マイク・WEB カメラ内蔵） PC に WEB カメラがない場合は別途用意する必要があります。 オンライン講習が受講可能な通信環境。		
教科	全般		
主な受講対象	小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校 教諭		
開講日	2020年8月3日	講習時間	9:30 - 17:10
認定試験日	2020年8月3日	試験方法	講習内で課題を作成・評価する。
認定試験の際の持込可否	不可		

講習の概要	<p>学校がその教育目的を達成するためには、家庭、地域との連携と生涯教育の視点が必要である。</p> <p>本講習は、生涯教育の観点から現在の教育課題を理解していくことを目的とする。受講者の問題関心を確認しながら、(1)地域教育の歴史的理解、(2)社会教育施設(図書館等)の活用、(3)生涯学習社会と進路指導、を中心に講義を進めていきたい。</p>
講習計画(時間割)	<p>1時限:9:30-10:50(80分) 講義内容 地域教育の歴史的理解(矢口徹也) 近代的な学校教育制度が発足する以前から、地域には伝統的な若者集団が存在し、自治、祭礼、警備を担い、教育的な役割を果たしていた。ここでは、近世の若者組、明治期以降の地域青年団への変化、さらにその衰退について取り上げながら、地域の中での青少年集団の教育的役割について考える。 (10分休憩)</p> <p>2時限:11:00-12:20(80分) 講義内容 :学校教育と家庭教育と社会教育(地域)の連携(坂内夏子) 文部省(当時)発行「父母と先生の会 教育民主化の手引」(1947)において子どもの幸福のために協力していく大切さが語られてきた。その後も学校教育と社会教育の「連携」・「融合」など繰り返し唱えられている。子どもたちを中心に保護者・教職員・地域住民が協力し合うことの意味について事例等を通して考える。 (60分休憩)</p> <p>3時限:13:20-14:40(80分) 講義内容:生涯学習社会と進路指導(濱中淳子) 「生涯学習社会」というキーワードを「社会人の大学進学」という観点から考えれば、日本は国際的に後れをとっているといえる。様々な要因が関係していることだが、進路指導のあり方にもその理由を見出すことができる。現在の進路指導の何が特徴的なのか、データを交えながら理解を深めていく。 (10分休憩)</p> <p>4時限:14:50-16:00(70分)</p>

講義内容: 公共図書館の活用(雪嶋宏一)

地域における社会教育施設として最も身近な存在が公共図書館である。しかしながら、児童・生徒の多くは学年が上がるにつれて学校図書館の利用で充足して、地域の公共図書館を利用しなくなっていく。一方、公共図書館は本や雑誌ばかりでなく、データベースや電子書籍・雑誌・新聞を導入することで情報環境の改善を図っており、より広く、より多くの情報を入手することができるようになっている。このような地域の情報資源を学校で活用するためには学校図書館と公共図書館との連携が重要である。講義では学校教育と生涯教育の接点となる学校図書館と公共図書館の役割について考えていく。

(20分休憩)

(認定試験): 16:20-17:10 (50分)

教科書(受講生の方に購入、持参いただくもの)	書名	出版社	価格
	なし		
参考文献	書名	出版社	価格
	なし		
その他	必要な資料等は、当日、配布します		

講師から受講者へのメッセージ

講習の中では、グループでの話し合いの時間をとる予定です。積極的に発言して下さい。